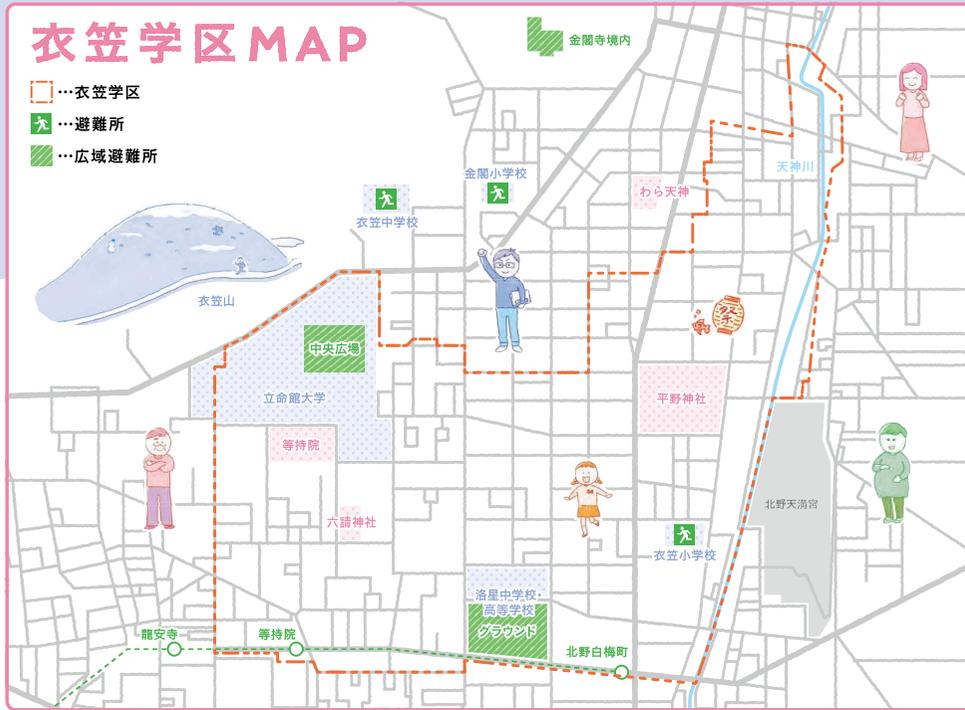


衣笠学区MAP

- …衣笠学区
- Ⓜ…避難所
- …広域避難所



ビジョン策定までの歩み

- 1 17.6.5 …… コアメンバー顔合わせ
- 2 17.6.15 …… 第1回コアメンバー会議
- 3 17.7.19 …… 衣笠学区まちづくりビジョン策定ワークショップ第1回
- 4 17.9月 …… 第1号衣笠まちづくり通信発行
- 5 17.10.5 …… 第2回コアメンバー会議
- 6 17.10.26 …… 衣笠学区まちづくりビジョン策定ワークショップ第2回
- 7 17.11.30 …… 第3回コアメンバー会議
- 8 17.12月 …… 第2号衣笠まちづくり通信発行
- 9 17.12.21 …… 衣笠学区まちづくりビジョン策定ワークショップ第3回
- 10 18.1月 …… 第3号衣笠まちづくり通信発行
- 11 18.2.1 …… 第4回コアメンバー会議
- 12 18.2.19 …… 第5回コアメンバー会議

衣笠学区まちづくりビジョン策定ワークショップでは、こんな意見もありました。

- 西大路通が東西間の隔たりを生みだし、住民交流の妨げとなっている。
- 昔は子供の遊び場がたくさんあったが、現在は子供の遊び場が少ないので、大学を遊び場にしてほしい。
- 町単位でのイベントや会報の発行に取り組んでいる地区もある。
- 地蔵盆は負担がおおきく、また子供がいないところは廃れてしまい、町内会によって活動に差がある。
- この1年間のワークショップをやることだけが「まちづくり」ではなく、10年先、20年先を見据えて、今後も活動を継続していくことが大切。
- 小さな交流を積み重ねることで、縁を深めることができなから、一昔の写真や古い地図などを持ち寄り、若い世代に思い出話をする。
- 学生と地域の子供が関われるイベントを開催してほしい。
- もちつき、運動会、ドッジボール大会など
- 大学と連携して地域の交通安全マップを作成する。
- 六請神社の祭りには大学のサークルが複数参加するなど、地域と学生との交流の場になっている。
- 大学の教室を開放して、地域住民の交流の場にしてほしい。
- 夏祭りが一大イベントになっており、同窓会の役割も果たしている。
- 運動会が人が集まらないため、参加人数に応じて得点を加算するシステムを導入したところ、参加人数が5人から25人に急増した。

ワークショップの内容をまとめた「衣笠まちづくり通信」を発行しました。



ビジョン策定に携わって……

編集協力：立命館大学文学部 加藤政洋研究室、河角直美研究室

今回、衣笠学区のまちづくりビジョン策定に携わり、私たちが何気なく過ごしている衣笠学区を改めて見つめ直すことで、地域連携の重要性を再認識しました。ワークショップでは、衣笠学区をより良くしたいという地域の方々の熱い想いに触れ、意見の集約に苦戦しつつも貴重な経験になりました。一年間をかけたビジョン策定に至りましたが、ここからがスタート地点と考え、地域に学びながら、これからの衣笠学区を考えていきたいと思います。



これでいい？ 衣笠

～よりよいまちへ～

衣笠学区まちづくりビジョンとは？

衣笠学区には、自然、歴史、文化、大学など、地域固有の資源がいっぱい！でも、人口減少や学生との交流不足、町内会のまとまりが悪い地域があるなど、課題も…。学区ビジョンとは、そんな衣笠学区の将来を共有するものです。衣笠学区固有の資源を再認識し、資源を活かして、みんなのまちをみんなで創りましょう。